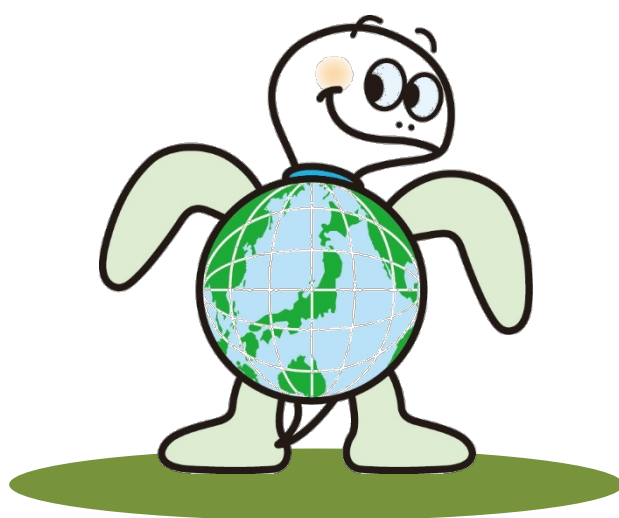


生涯学級



~ ~ ~ ~

~

Å Å!

~

~ ~

Å Å!

Å Å! \$\$

Å Å! \$,

~

~

Å Å! %

Å Å! &#

神奈川区の生涯学習講座

～区民企画型講座～



神奈川区地域振興課では、区内在住者による「運営委員会」が講座を企画・運営する「区民企画型講座」を行っています。これを『生涯学級』と呼んでいます。

●区民企画型講座の実施形態は

- ・神奈川区内在住者を代表者として、運営委員会を組織します。
- ・区が運営委員会に補助金を支払い、その補助金と参加費をもとに運営委員会が講座を企画、実施します。
- ・開催は、1回2時間程度の講座を3～5回、連続講座で実施します。また、開催場所は、神奈川区役所・神奈川区内の地区センターなどの公共施設を利用します。

●生涯学習講座の実施目的は

- ・受講者が、社会や地域の課題を見つけ、解決に向けさまざまな課題に自主的に取り組み、学習する場を提供すること
 - ・受講者が、学んだことを活かして、講座終了後も自主グループの結成や、地域づくりに参加し活躍する人材となっていくこと
 - ・区民である運営委員が企画・運営を担うことで、地域のニーズに合った講座が開催されること
 - ・運営委員が講座の企画・運営方法を学びながら仲間づくりをし、最終的には地域づくりに自主的に取り組んで活動していくこと
- これらを期待しています。運営委員会での話し合いは、楽しみながらも、これらの実施目的を意識して取り組んでください。

●講座のテーマは

講座は、受講者・運営委員ともに、楽しみながらも、関心を広げ知識を深めていただくことが重要です。そのためにも講座のテーマは、次のようなものを設定しましょう。

- ・よりよい地域づくり、住みやすいまちづくりを目指すもの
- ・市民生活や環境の改善を推進するもの

例1：地域の子どものために育てるために地域の教育力をつける

例2：区の歴史や地理を知り『わがまち、神奈川』に愛着をもつ

例3：地域における国際問題、環境問題について考える

例4：豊かな老後を考える など

＊営利を目的とすること、特定の政党の利害に関すること、特定の宗教を支持すること 及び 公益を害するおそれがあることなどの内容は除きます。

●実際の学級活動は

- 1 講座を行うことによる効果を考え、テーマやプログラムの企画を行います。
- 2 それに基づいて広報活動（受講生の募集）をします。
- 3 講座の準備、実施など実際の運営を行います。
- 4 こうした運営委員による活動に対し、社会教育主事（主事補）、社会教育指導員、支援センター職員など、区の職員が必要に応じて助言や相談を行っています。

問合せ：地域振興課 生涯学習担当 TEL：411-7093 FAX：323-2502

環境デビュー講座

私たちの一歩で未来は変わる。まちに優しく、未来に優しく、神奈川区の環境問題に取り組んでいる企業や個人にクローズアップ、魅力的な活動をのぞいてみよう。

●全5回連続講座「このまちの未来のために、一歩踏み出そう」

実施期間 R5. 9. 1～R5. 9. 29

令和5年度 神奈川区生涯学習 連続講座

このまちの未来のために、 一歩踏み出そう

環境講座

未利用魚を給食に



自然に生かされている感謝



子どもの発達ステージは森の中



私たちの一歩で未来は変わる。まちに優しく、未来に優しく、神奈川区で環境問題に取り組んでいる企業や個人にクローズアップ、魅力的な活動をのぞいてみよう。

無 料

受講生募集

- ◆定 員 20 名
- ◆対 象 区内在住の方で連続 5 回の講座にご参加できる方
- ◆申込方法 右の二次元コードからお申込み。
またはインターネットで
「神奈川区の生涯学習事業」で検索
- ◆保 育 無料 1 歳以上のお子さま
- ◆会 場 神奈川区役所
- ◆時 間 10:00 ～ 12:00
- ◆締 切 り 8 月 18 日 ※結果は 21 日以降メールにてご連絡します。
- ◆お問合せ 神奈川区役所地域振興課 生涯学習担当
TEL 045-411-7093 FAX 045-323-2502



保育付き



講師の紹介



第1回目 9月1日(金)

生きもののつながりってなんだろう？

講師：横浜市環境創造局政策課

私たちの生活は様々な自然の恵みのうえに成り立っていることを理解し、今後、自分たちが生物多様性のためにできることを考える。



第2回目 9月8日(金)



自然に生かされている感謝

講師：羽沢ファーム
代表 出川 宏幸 さん

うこっけい
羽沢ファームではブルーベリーや養蜂、烏骨鶏の飼育を行っている。羽沢小学校の“Hazawa Sustainable”では生徒自ら考える力を育てる活動をしている。

第3回目 9月15日(金)



未利用魚を給食に

講師：横浜丸魚株式会社
おさかなマイスター
齋藤 融 さん

子どもたちに、魚食の大切さ、水産業が抱える課題、フードロス削減など、さまざまな学びが「未利用魚」を活用した学校給食につながっていることを伝えている。

第4回目 9月22日(金)



子どもの 発育ステージは森の中

講師：五感教育研究所
森林インストラクター
高橋 良寿 さん

青少年健全育成をテーマに、教職員研修、校内研修、幼保職員研修を行っている。「外遊びの講座」では枝や葉っぱなど自然の資源を教材として生物の特性を学び宝物に見えるそんな講座を開催している。

第5回目 9月29日(金)



私たちが 未来に向けてできること

講師：羽沢ファーム
代表 出川 宏幸 さん

エコ工作「蜜蝋ラップづくり」ミツバチの巣を溶かして固めた蜜蝋を材料に、繰り返し使えるエコラップづくりを体験し、全5回の講座をふりかえる。

連続5回 の講座修了後、一歩踏み出し持続的な活動として令和6年度の環境講座と一緒に企画しませんか？

神奈川区生涯学習では、

区民のみなさんによって構成された「運営委員会」が地域課題をテーマに講座を企画・運営しています。講座での学びを活かし地域における自主的な活動につなげることを目的としています。

保育ボランティア
「こぶし」は、

神奈川区生涯学級からはじまり、平成2年から自主グループとして活動しています。区役所の事業や自主グループの保育、地域の子育て支援を実施しています。「お母さんは学んでイキイキ！お子さんは楽しくてワクワク！保育者も輝いてキラキラ！」みんなが成長できる保育を目指しています。

【主催】神奈川区役所地域振興課

【協力】保育ボランティア「こぶし」

【第1回 いきもののつながりってなんだろう？】

❖ 講 師：横浜市環境創造局政策課

❖ 会 場：神奈川区役所5階大会議室 保育：2階中会議室

❖ 受講生：13名 保育：2名



【講座の内容】

生物多様性に関する基礎についてスライドを用いて分かりやすく説明していただきました。普段、気にしていなくても私たちの生活は様々な自然の恵みの上に成り立っていることを理解することができました。

後半はグループに分かれて「生物多様性まんだらカードゲーム」を行いました。つながりのあるカード同士を繋げていくというゲームでしたが、グループごとにカードの繋がり方が異なり、様々な事象が繋がっているということを理解しました。

環境創造局の方の熱弁はとても勉強になるとともに、とても楽しく学ぶことができました！普段生活していく中でかかわる身近な自然に目を向けていきたいと思います。

【受講者の声】

- ・”生物多様性まんだらカードゲーム”がとても面白く、日頃なんとなく感じるつながりを「見える化」しながら具体的かつ、多面的に考えてゆくことで、色々な気付きがあるのだと知りました。
- ・班によって、つながりのとらえ方がちがったこと。講座内でもおっしゃっていたが、どれも違和感なく正解だし、新たな発見にもつながった。
- ・私たちの生活は、環境(自然、生活…)に影響を与えたり、与えられたりしながら存在している。そのために持続可能な(サステナブル)な環境を守っていくことが必要。

【 第2回 自然に生かされている感謝 】

❖講 師：羽沢ファーム 出川 宏幸さん

❖会 場：神奈川区役所5階大会議室

❖受講生：12名 保育：なし



【講座の内容】 9月8日(台風のため10月6日に延期)

台風で延期になってしまいましたが、日程を調整して無事講座を開催することができました。出川さんは羽沢でブルーベリーや養蜂、烏骨鶏の飼育を行っていて普段から環境について考えられている方でした。

講座ではミツバチの生態から環境問題について話をしてもらい、ミツバチの重要性やミツバチが減少してしまっている原因などを学びました。また、ネオニコチノイドの危険性についてもお話していただき、普段考えることがあまりないような内容を参加者で考え、共有することができました。

自然への感謝の気持ちを忘れずに生活していかなければならないと感じました。

【受講者の声】

- ・ 自然の仕組みがいかに素晴らしいものであるか生き物たちのそれぞれの役割の中に環境が保たれていることを知りました。地球は子孫代々から預かりものであることを自覚し、大切にしなければならない
- ・ 生ごみを庭に作ってリサイクルする。資料を参考にしてさっそく実行。
ケツメイシを庭に植えてみます。
- ・ 環境を守るのは個人、社会の地道な努力が必要である。私も身近なところから努力をしていきたいと思う。

【第3回 未利用魚を給食に 】

- ❖講 師：横浜丸魚株式会社 おさかなマイスター 齋藤 融さん
- ❖会 場：神奈川役所5階大会議
- ❖受講生：10名 保育：なし



【講座の内容】

おさかなマイスターの齋藤さんからは海で起きている問題などについて話をしてもらいました。横浜でとれた市場に出回らない規格外の魚「未利用魚」を小学校の給食で活用するなどの活動をしており、食品ロス削減に大きくかかわるような素晴らしい活動をされていました。将来世代の子供たちに小学校から未利用魚などの問題に触れて理解していくことで環境問題についてより深く考えることができるのだと感じました。

また、あまり身近な存在ではない、ホヤについては、食べられるのにも関わらず処分されてしまうという実態があることから、ホヤのレシピ集を制作したり、ホヤ専門店の方と商品を開発して販売しているとお話がありました。

普段は身近に感じられませんがこうして企業としての環境に関する取組についてお話を聞けてとても勉強になりました。質疑応答の時間には受講者からもたくさんの質問があり、一つ一つとても丁寧に回答していただきました。

フードロスについても意識しながら生活し、ホヤも食べてみたいと思います！

【受講者の声】

- ・未利用魚というのは日頃、売られていない流通していない魚だと思っていましたが、規格が小さい量的にも少ない魚のため、利用されていない魚であることを理解できました。
そしてどんな魚でも量が多ければ利用される。
- ・未利用魚については、日頃から良い取り組みだと感じて、サブスクリプションの取りよせをしていたので、よりくわしく実態を教えてもらえて、面白かったです。
一層進化すると良いですね。
- ・魚については、福島処理水のことなど、問題になっていることも多いので家での消費量をふやしています。ささやかな一歩ですが。

【第4回 子どもの発達ステージは森の中】

- ✿講 師：五感教育研究所 森林インストラクター 高橋 良寿さん
- ✿会 場：神奈川区役所 5階大会議室 保育：2階中会議室
- ✿受講生：13名 保育：2名



【講座の内容】

・高ちゃん先生の愛称でおなじみのとても気さくで話やすく柔らかい雰囲気の先生でした。今回は子供の発育をメインにお話をいただきました。小さいころからいかに自然に触れるか、ペットボトルや牛乳パックなど人の手でつくられた材料ではなく、木や葉など自然のものを活用して遊ぶことがどれだけ子供の脳に良い影響を与えるかがよく理解できました。

後半はどんぐりと竹を材料にしてみんなでブンブンゴマを工作しました。参加者同士で協力しながら、工作し実践することで自然での楽しい遊びに触れることができました。どんどん便利になっていく世の中ですが自然に優しく脳にも優しい遊びや生活などを次世代の子供たちに受け継いでいけたらいいなと思いました。

高ちゃん先生は公園などでも自然遊びを教えてくれるのでぜひ参加してみたいと思います。

【受講者の声】

- ・五感と脳とのつながりが分かりやすかったです。世界的に大人もゲームを楽しんでいる時代なのでゲームの排除は無理。ゲーム脳にならないよう、ゲームとの付き合い方を教育するのも大切だと思いました。
- ・子供たちに色々なことを体験させるということは屋内ですることではなく、頭を使わせるというイベント的なことではなく、自然にふれさせて、その中で体験させることが一番大事と考えた。
- ・発育は自然の体験が必要。自然の体験によって身を守る必要。創造性を発育する。現在の子供はプログラム化されていて技能・技術がもっと必要ではないか。

【第5回 私たちが未来に向けてできること 】

❖講 師:羽沢ファーム 出川 宏幸さん 蜜蝋ラップ講師 櫻井 庸子さん

❖会 場:神奈川区役所B1階機能研究室・研究室 保育:2階中会議室

❖受講生:12名 保育:1名



【講座の内容】

まとめの回だったのでグループで「未来のためにみんなでできること」を考えて意見を出し合い、各グループで模造紙にまとめ、最後には発表をしました。グループごとに意見も様々でみんなの考えを共有できて良かったです。環境問題については自分一人で考え行動するだけでは解決することができないと思うので、これからも周りの方の意見も聞きながら、自分で、みんなでできることを考えていきたいと思いました。

後半は、みんなで蜜蝋ラップづくりを体験しました。何度も洗って使えるエコなラップで、普段の生活の中に取り入れることが簡単にできるものだと思うので活用していきたいと思いました。

【受講者の声】

- ・昆虫(ミツバチ)が異常なほど少なくなっているそれは地球の温暖化によることが大きいように思う。化石燃料の使用が多いので極力減らすことを考えなければいけない。また、9月15日のカーボンリサイクルも今後、国の事業に考えてゆく必要があるように思った。
- ・ネオニコチノイドの問題を改めて重要なことだと知った。ミツバチが減っていることは未来の生活に支障ができるメッセージということと、とらえることを知った。
- ・身近なところから先ず第一歩として自分がいま、何ができるかをしっかり見つめて息の長い活動ができることが大切だと思う。
- ・この講座の最終には、ぜひ全国の先進事例を集めていただき学ぶ講座を企画してほしいと思った。

おやまなび 運営委員会

「親の学び」「子育て中の親のナビゲーション」という意味を込めて『おやまなび』という愛称をつけました。子育て中の悩みを相談し合える仲間づくりや学びを通じて、今よりもっと笑顔で育児に向き合えることを目指しています。

●生涯学級運営委員 7名

●区民企画型講座（保育付き）全5回連続講座 実施期間 R. 5. 10. 31～R. 5. 11. 28



想いを広げる つながる人と恩送り

神奈川県生涯学級5回連続講座

楽しむ頼る甘える笑い合う
そして居心地が良い♡

子育てで忘れていた気持ちを思い出しませんか？

【場 所】神奈川県役所・神奈川公会堂

【対 象】神奈川県在住の子育て中の方
全5回参加できる方 25名

【時 間】10:00~12:00 (全5回共通)

【参加料】1,000円/全5回

【保育料】子供1人につき500円/全5回
(1才以上、0才は同室受講)

10/31 火

我が子を
撮りたい！
フォト講座

フォトグラファー
服部考規

11/7 火

言葉で
つながる
ハッピーライフ♡

研修講師
渡辺整

11/14 火

心も体も
スッキリ
ヨガ

ベビママキッズの
ヨガ講師
佐藤ゆかな

11/21 火

あんたは
えらい！

NPO法人
Umiのいえ
齋藤麻紀子

11/28 火

想いを広げる
みんなで
トーク

運営委員会
おやまなび



主催 神奈川県生涯学級運営委員会
おやまなび
企画 神奈川県役所 地域振興課
協力 保育ボランティア こふし

お申し込み

お問い合わせ

右記QRより電子申請
申込多数の場合は抽選
※2023年10月16日(月)締切

神奈川県地域振興課
生涯学習担当 小林・中村
☎045-411-7098





渡辺 整
Watanabe Tadashi

1983年横浜市生まれ。20代はサービス業界でチームマネジメント経験を積む。28歳で脱サラ。(カフェ経営で大失敗!) 30代、人材育成専門会社にて営業、新規事業立ち上げ、採用・就活支援等を経験し、2022年フリーランスの講師として独立。
テーマ：コミュニケーション、マナー、部下指導、ダイバーシティ等



齋藤 麻紀子
Saito Makiko

いのち・こころ・からだ・くらしの学びあいの場を運営する(NPO法人Umiのいえ)代表。
出産・子育て支援活動歴28年。さまざまな親子の発達と行く末を見てきました。
親子のこころは、「子どもから学ぶ」「人との出会い」「力を抜く」ことをお伝えします。



佐藤 ゆかな
Sato Yukana

3児の母×ベビママキッズヨガのヨガ講師×ハンドメイド作家をしている、元接骨院の先生(柔道整復師)。赤ちゃん和妈妈が気兼ねなく来られる場所をつくり、ママ同士・子ども同士の交流を深めています。
ヨガ(運動)を通して、心もカラダもスッキリして欲しい! そんな想いで毎月レッスンを開催しています。



講師紹介
Instructor's Profile



服部 考規
Hattori Takao

神奈川県茅ヶ崎市生まれ。日本写真芸術専門学校卒業。風景写真家・竹内敏信氏の助手、写真製作会社勤務を経てフリーに。写真撮影・動画撮影のほか、写真専門学校・写真教室講師や写真雑誌の執筆等で活動中。学校写真に携わるカメラマンとして、また、小学2年生男子の父親目線も加えて心に残る写真の撮り方を解説します。

おやまなび

神奈川区のサポートを受けながら、区内在住のママを中心に講座を企画しています。ママだけではなく、パパも参加してほしい。親の学び、子育て中の親のナビゲーションという意味を含め「おやまなび」という愛称をつけました。
お互いの子どもを見守りながら、一人の人として学び、好きなことを活かしながら、楽しく、活動しています。

こぶし

保育ボランティア「こぶし」平成2年から活動している自主グループです。区役所の事業や自主グループの保育、地域の子育て支援を実施しています。
お母さんは学んでイキイキ!
お子さんは楽しくてワクワク!
保育者も楽しいキラキラ!
みんなが成長できる保育を目指しています。

第1回 【我が子を撮りたい！フォト講座】

❖講 師:フォトグラファー 服部 考規さん

❖会 場:神奈川公会堂1号会議室 ❖保育会場:2階和室

❖受講生:16名 運営委員:7名 合計23名

❖保 育:11名 同室保育10名 合計21名



【講座の内容】

本講座ではカメラを用意し設定する所から実際に撮影する際のテクニック、写真の保存と活用までをプロのカメラマン服部考規さんから学ぶ。初心者でもすぐ真似できる様な分かりやすいものから少しマニアックな話までプロの知識を惜しみなく教えてくれたとても為になり写真が好きになる講座である。

より印象的な写真を残す為にはカメラをおすすめするがスマホでも十分きれいな写真が撮れるそうで設定も初めはオート、慣れてきたらいくつか設定をしてみるとより良い写真が撮れるそう。実際に教えて頂いた明るさの設定をスマホに取り入れてみるとそれだけでいつもより上手に撮れた。撮り方はすぐに上達するわけではないが何枚も撮りお気に入りの写真や失敗したけど何故か魅力的な写真を見つけたりを繰り返す中で段々と上達していく事が写真を撮る醍醐味なのだろうと感じた。そして今回学んだこれらの知識と経験を恩送りとして私は周りに伝えていきたいと思う。

【受講生の声】

- ・今回の講座で一番印象に残った言葉は「子どもを撮影する10のテクニック」です。今まで考えたことがたくさんあって、例えば斜めな構図で躍動感が出るや逆光を利用し立体感を出すなどです。これから、これらのテクニックを活用させて、よい写真をたくさん撮りたいと思います。
- ・一般的なカメラ講座ではなく、子供を撮るということにフォーカスした講座で面白かったです。
- ・動きまわる男の子3人なので流し撮りを参考にさせてもらって撮ってみたいと思います。

【記録:おやまなび運営委員 森山】

第2回 【言葉でつながるハッピーライフ♡】

❖講 師:研修講師 渡辺 整さん

❖会 場:神奈川公会堂 第1号会議室 ❖保育会場:和室

❖受講生:10名 運営委員:6名 合計16名

❖保 育:11名 同室保育:5名 合計16名



【講座の内容】

講師の渡辺さんの柔らかく笑顔の絶えない人柄と話し方で、終始笑いの絶えない明るく朗らかな講座になりました。冒頭には講座の一番の目的である「アサーティブなコミュニケーションスタイル」を目指したいか？というテーマでグループディスカッションがあり、「無理にアサーティブを目指そうという話ではない」とワンクッションあったことが印象的でした。目的の共通認識しつつ、押し付けない柔らかさからして、さすがコミュニケーションの講師だなと思いました。全体を通して都度グループワークを取り入れ、思ったことや考えていること、各々の経験をシェアしながら講座を進めることができました。渡辺さんの“コツ”に関しては全て具体的な渡辺さん自信のエピソードを交えながら説明されていたのでイメージが湧きやすかったです。毎日何気なく発している「言葉」ですが、選び方、伝え方を少しだけ工夫することで毎日が明るく楽しく過ごせるんだなということを実感させてくれる、ハッピーな講座でした。

【受講生の声】

- ・自分はアサーティブコミュニケーションできていると思っていたが、圧倒的に言葉が足りていないんだと気づかされた。
- ・アサーティブは初めて聞いて、いい勉強になりました。他人を尊重し、自分のことも大切にして、お互い会話をうまく進めるのはなかなか難しいが、最後までいい笑顔はポイントだなと気づいた。
- ・渡辺さんのお話、とっても面白かったです！次回はダイバーシティとは？グローバルコミュニケーションとは？など多様性についても聞いてみたいと思いました。グループワークが多くて楽しかったです。

【記録:おやまなび運営委員 丹羽】

第3回 【心も体もスッカリヨガ】

❖講 師:ベビママキッズのヨガ講師 佐藤 ゆかなさん

❖会 場:神奈川区役所B1階機能訓練室・研究室 ❖保育会場:2階中会議室

❖受講生:10名 運営委員:6名 合計16名

❖保 育:10名 同室保育:6名 合計16名



【講座の内容】

最初にアイスブレイクの『ピンポンリレー』をおこない、盛り上がる中、講座が始まりました。色々なヨガがある中から、ママに嬉しい産後の悩み TOP3の肩こり腰痛、尿漏れ、寝不足が解消できるヨガを教えていただき、実践しました。骨盤ぐるぐるダンスやぽっこりお腹に効くヨガなど盛りだくさん、たびたび、きつい・つらいと声が聞こえてきましたが、楽しそうでした。講師の方の子どもとのエピソード話を聞き、家庭でできたらステキだなと、受講生も実践したいと話していました。

子どもと一緒にできる、ふれあいベビママヨガを親子で楽しみながらできたら、健やかで笑顔いっぱいになるだろうなと感じました。心も体もスッカリし、笑顔溢れる時間になりました。

【受講生の声】

- ・寝かしつけの時間が有意義に使えると知れて、今日からやってみようと思います。
- ・呼吸を意識するだけで身体の内へ空気がめぐるのを感じれました。
- ・自分の機嫌を自分でとれるようにするという。夫や子供に取ってもらおうとするのではなく自分でうまく時間を見つけて、自分で身体をほぐし、リラックスして心地よい時間を手に入れたと思った。
- ・骨盤底筋群を整えるヨガが印象的でした。産後の湯もれで、必要性を感じていながらもほったらかしだったので、これを機にお家で取り組みたいです。
- ・産後、なかなかゆっくりヨガができていなかったもので、とても有意義な時間でした。今の生活にも取り入れやすい動きが多かったので実践していきたいです。

【記録:おやまなび運営委員 小林】

第4回 【 あんたはえらい！ 】

- ❖ 講 師: NPO法人 Umiのいえ 齋藤 麻紀子さん
- ❖ 会 場: 神奈川公会堂 第1号会議室 ❖ 保育会場: 和室
- ❖ 受講生: 10名 運営委員: 5名 合計15名
- ❖ 保 育: 11名 同室保育: 5名 合計16名



【講座の内容】

参加者が集まるまで、アイスブレイクとして、「ストレスゲーム」をしようと、講師からの提案で講座が始まりました。講話も普段とは異なり、全員で円になりお話を聞くスタイルで行われました。前半は、自身の体験談や子供の成長、親同士の繋がりなどのお話を、後半は、参加者全員の質問やお悩みに答えてくださいました。

最後のアイスブレイクから参加者が講師の世界に引き込まれた感じがしました。そのためか、メモをとるよりも講師の話を聞くことに注力している様に見受けられました。後半の質問タイムは、必ず肯定や褒めから入り、様々な答えやアドバイスを頂きました。私自身、参加者の子どものこと、夫のことなど全員が何かに悩んでいることを知れ、自分だけではない、とホッとしました。

全体を通して、「今のままで充分頑張っている」と今までの育児を肯定してくれ、笑いあり、涙ありの温かい空気間の講座でした。

【受講生の声】

- ・1つのものごとだけど見方を少し変えるだけでポジティブになるな、と全部の話を聞いて思いました。
- ・気分がおちるときがあり、何もやる気が起きないこともあったが、それはこもる時期だからムリに頑張らなくてもいいんだと思えた。
- ・まきこさんの講座に参加するといつも心が軽くなる。
みんなで支え合って楽しく子育てしていきたい。そういう場をやっぱり作りたいと改めて思った。

【記録: おやまなび運営委員 吉田】

第5回 【想いを広げるみんなでトーク】

❖進 行:神奈川県生涯学級運営委員会 おやまなび

❖会 場:神奈川県役所B1階機能訓練室・研究室

❖保育会場:5階交流室

❖受講生:11名 運営委員:6名 合計17名

❖保 育:12名 同室保育:4名 合計16名



【講座の内容】

神奈川県生涯学級5回連続講座「想いを広げる～つながる人と恩送り～」の最終回では、ワールドカフェを行いました。

それぞれの講座の内容から、話し合いのテーマを「私のリラックス法」、「私なりのコツ、ベストショット」、「いらっち、もやっちした話」、「うれしかった恩送り、やってみたい恩送り」と設定して各グループで意見を出し合いました。

講座を振り返りながら、勉強になったこと、その後実践してみたこと、また受講者同士で話し合ううちに新たに気づいたことなどもあり、各テーブルで話が盛り上がりました。

コロナウイルスの感染状況が落ち着いたことから、今年は3年ぶりに飲み物持参でのカフェが実現しました。受講者が想いを共有し合うことができ、リラックスした雰囲気、終始和やかな話し合いの場となりました。

【受講生の声】

- ・講座に来るまでがいつもチャレンジですが、来てよかった！と思う内容ばかりで楽しかったです。同じ考えの人がこんなにいるんだ！こういう考えもあっていいんだ！と気持ちが楽になることばかりでした。
- ・全5回の講座ありがとうございました。「今日はこんなことやってきたよ！」と夫婦で話す時間ができてよかったです。
- ・ワールドカフェ、和気あいあいとした空間で楽しかった！！知り合いがたくさんできて参加できてよかった！！たくさん笑ってストレス発散できた――！
- ・どのグループも共感できること、新しい発見がありました。

【記録:おやまなび運営委員 多和田】

神奈川県国際かけはしの会 運営委員会

区内の国際交流に関心のある人や国際交流に関わる活動者が集まり、多文化共生がすすむ地域を目指して講座を企画しています。

●生涯学級運営委員 8名

●区民企画型講座（保育付き）全5回連続講座 実施期間 R6. 1. 31～R. 6. 2. 28

R5年度
神奈川県生涯学習
連続講座

た ぶ ん か き ょ う せ い

多文化共生 はじめての一步

受講者
募集

身近な外国人ともっと関わりたいけど
どう接していいかわからない……
まずは知ることから始めて
暮らしやすい地域づくりに参加しませんか？

多文化共生って
なに？

日本語で話しかけて
だいじょうぶ？



神奈川区には
どんな国の人が
いるの？

外国語ができなくても
できること
あるのかな？

日時と場所： 1/31～2/28の毎週水曜日 10時～12時、神奈川区役所

参加費： 1,000円（全5回分）

対象： 神奈川区在住で、多文化共生に関心がある方 20名（多数抽選）

保育あり： 1歳0ヶ月から（1/31時点）お子さん1人につき500円（全5回分）

*0歳児は同室受講となります。

申込み・問合せ

1/16（火）必着

かながわくやくしよ ちいきしんこうか しょうがいがくしゅう たんとく

神奈川区役所 地域振興課 生涯学習担当 〒221-0824 神奈川区広台太田町3-8

TEL 045-411-7093 FAX 045-323-2502 ✉ kg-gakyuu@city.yokohama.jp

電子申請・Eメール・はがき・FAXで

- | | |
|---------------------|-------------------|
| ①講座名(多文化共生 はじめての一步) | ⑥この講座をどこで知ったか |
| ②氏名・ふりがな | ⑦応募動機 |
| ③郵便番号・住所 | ⑧保育希望の場合は |
| ④電話番号 | お子さんの氏名・ふりがな・年齢月齢 |
| ⑤メールアドレス（あれば） | |

※抽選結果は1/23（火）までにお知らせします。



各回のテーマ

1/31
(水)

多文化共生社会についての歴史と現状

東京大学 准教授
永吉希久子さん

2/7
(水)

日本語ボランティア団体の活動と
行政から見える多文化共生の現状と課題

友ゆうスペース
TIEトマトマの会
神奈川県国際交流の会
横浜市国際局

2/14
(水)

やさしい日本語
～外国人とのコミュニケーションにおける注意点、
外国人が困っていることを知ろう～

かながわ国際交流財団
一氏隼人さん

2/21
(水)

日本語ボランティアによる活動、
外国人との共生についての現状と課題
～日本語教室への現場訪問をふまえて～

神奈川大学 准教授
富谷玲子さん

2/28
(水)

「関心を持つ」から行動へ、さあ踏み出そう

神奈川県国際交流
ラウンジ運営団体

講師・団体紹介

東京大学 永吉希久子准教授

東京大学社会科学研究所准教授。
大阪府生まれ。専攻は社会学（社会意識論・移民研究等）。大阪大学人間科学研究科博士後期課程終了後スウェーデンウメオ大学客員研究員。東北大学大学院文学研究科准教授。
著書『移民と日本社会 データで読み解く実態と将来像』（中公新書・第37回大平正芳記念賞受賞）他多数。

神奈川大学 富谷玲子准教授

神奈川大学国際日本学部准教授／資格課程センター日本語教員養成課程部会長。研究テーマは日本語教育における教師教育、言語政策、言語教育政策。『グローバル化に伴う社会変容と言語政策』（共著）、『在日外国人と日本社会のグローバル化』（共著）等。1990年代より、文化庁国語科の「生活者としての外国人」を対象とする言語生活に関する調査研究に参加。

かながわ国際交流財団

神奈川県鶴屋町の「かながわ県民センター」を拠点に、多言語情報提供や相談対応、日本語教育、子育て・教育支援、人材育成など多文化共生に関わる様々な事業を行っています。

日本語ボランティア団体

友ゆうスペース

日本語が母語でない小・中学生に、区内3カ所で学習支援教室を開いています。子どもたちが安心して学校生活を送れるようにホッとできる居場所でもありたいと思っています。

TIEトマトマの会

外国につながる中・高生たちを中心に、日本語や教科指導、受験や進学相談などのサポートをしています。

神奈川県国際交流の会（KANAK）

同じ地域に住む外国人が、国や文化を越えて、私たちとともに暮らしていけるように、日本語教室などを区役所で開催しています。

ボランティア教室の 見学の機会もあります！

主催

神奈川県生涯学習推進委員会
「神奈川県国際かけはしの会」

共催

神奈川県役所地域振興課

協力

保育ボランティアこぶし

第1回 【多文化共生についての歴史と現状】

✿講師：東京大学 准教授 永吉 希久子さん

神奈川区役所 地域振興課 宮本係長

✿会場：神奈川区役所5階大会議室

✿保育会場：2階中会議室

✿受講生名：14名 運営委員：7名 合計21名 ✿保育：なし



【講座の内容】

開講直前の受講キャンセルや欠席があり、初回講座としては少し寂しいスタートとなった。しかし、永吉先生の講座は期待通り分かりやすく、また充実したものであった。日本の移民は不足する労働力補充として始まったが、「避難回避の政治」から移民は受け入れていないというのが政府の見解である。そのため、手を携える真の多文化共生社会には多くの障壁がある。本講座をはじめ地域の地道な取組の継続が、障壁を崩す大きな流れに繋がってゆくことを期待したい。

【受講生の声】

- ・多文化交流では、意見を自分の第一言語で自由に書いたり声を出す場が必要と思った。コミュニケーションの方法としてアプリ（音声、文字）を使い、お互いに文化を尊重しつつ意見交換する場を作りたいと思った。（人間関係づくり）
- ・日本の受け入れの問題として、制度の問題（技能受入）と日本全体の問題（非正規雇用の社会的な差別、不利益）の問題が複雑に絡まり合っていることが理解できた。
- ・日本の永住者が全体の27%しかいないのにびっくりした。技能実習生11%、留学生9%の永住者比率をどうにか増やしていきたい。
- ・留学生の希望と企業のおもわくとの差が、帰国につながる現状に残念な思いがしました。
- ・「日本」という国や社会を考えていくことが、大切であること、再認識、再実感されました。また、永吉先生の「手を差し伸べる」から「手を携える」へ、しっかりと受けとめたいと強く感じました。

【記録：神奈川区国際かけはしの会運営委員 犬塚】

第2回 【日本語ボランティア団体の活動と行政から見える 多文化共生の現状と課題】

✿ゲストスピーカー：友ゆうスペース、TIEトマトマの会、神奈川区国際交流の会
横浜市国際局 松本係長

✿会 場：神奈川区役所5階大会議室

✿保育会場：2階中会議室

✿受講生：17名 運営委員＋OG：8名 合計25名

✿保育：1名



【講座の内容】

・3団体の話は、皆さんの柔らかな語り口と「学習の場であるとともに、居場所としての大切さ」「支援者というより伴走者でありたい」という視点が印象的でした。時代の変化に対応しながら長年活動されてきた現場の経験は、地域の貴重な宝だと感じました。一方で、人手不足や会場の確保などの課題もあり、在住外国人が増えるなか、手弁当の活動頼みでは十分な支援が必要な人たちに行き渡らないとも感じました。国際局の話は駆け足でしたが、横浜市でもいろんな取り組みが行われていることを知ることができました。松本係長も言われていたように、やはり息の長い取組を幅広く行うためには、国のより積極的な政策と財源の拡充が必要だと感じました。今回は話者が多かったこともあり、グループ内で話す時間がほとんどなかったので、次回以降、受講者の方たちといろいろ話してみたいです。

【受講生の声】

- ・外国籍、外国につながる子供が抱える問題について、今まで知る機会が全く無かったので貴重な現場の声を聞くことができて良かった。
- ・トマトマの会のお話で、子供達が学校だけではなく、家でも居場所がなく、果ては親の都合で子供だけ国に帰らされてしまうケースがあると聞いて驚きました。
- ・多様な文化背景を持つ外国人の方々が快適に不安なく生活できるような取り組みがたくさん行われていることは、国際都市である横浜市において大切なことであり、誇らしいと感じました。

【記録：神奈川区国際かけはしの会運営委員 山下】

**第3回【 やさしい日本語～外国人とのコミュニケーションにおける注意点
外国人が困っていることを知ろう～】**

- ✿講 師：かながわ国際交流財団 一氏 隼人さん
田中 マリー 静江さん レ ティ ティンさん
- ✿会 場：神奈川区役所5階大会議室 ✿保育会場：2階中会議室
- ✿受講生：15名 運営委員：7名 合計22名 ✿保育：1名



【講座の内容】

一氏隼人さんは日本語の難しさ、日常会話の中で伝わりにくい表現を具体例を使って、分かりやすく、丁寧な説明でした。ゲストの日本語学習者が言うように、漢字、敬語等日本語の複雑さ、難しさに、改めて気づかされました。音楽フェスティバルのチラシを使ったグループワークでは、不要な情報を省き、やさしい日本語でどう表現するか考えて議論して、より外国人に伝わりやすいチラシにするいい実習でした。そのほかにマイクロアグレッション（小さな攻撃）のビデオ学習や、神奈川県内で多言語各センターの紹介等多岐にわたる内容でした。講座を通じて外国市民の方に対して、やさしい日本語の必要性は十分に理解できました。課題は、実際に使うにはさらに実習や経験を積んだり、ノウハウ等が必要だと思いました。

【受講生の声】

- ・「やさしい日本語」を使ってグループで「チラシ」づくりをしたときに無意識に使っている日本語を「やさしい日本語」に変える難しさを知りました。
- ・「マイクロアグレッション」という言葉を今回初めて学びました。無自覚の差別がどこまでも起こると思ったので今後気をつけたいと思いました。
- ・最初に来日した時、日本語が分からなくて、つらかった記憶が今でも残っています。けれど、周りの日本人の方々が気を遣ってくれて、理解できてない顔を見たら、すぐにやさしい日本語で私に話しかけてくれました。今日の講座を受けて、改めて「やさしい日本語」の必要さを感じました。

【記録：神奈川区国際かけはしの会運営委員 辻】

**第4回 【日本語ボランティアによる活動、外国人との共生についての
現状と課題～日本語教室への現場訪問をふまえて～】**

❖講 師：神奈川大学 准教授 富谷 玲子さん

❖会 場：神奈川区役所B 1階機能訓練室・研究室

❖保育会場：2階中会議室

❖受講生15名 運営委員：7名 合計22名

❖保育：1名



【講座の内容】

グループ発表での主な共通意見として「いいと思ったところ」マンツーマンの対応になっている、学習の場だけでなく居場所となっている「課題と感じたこと」場所の確保（狭い、教室が毎回変わる）、ボランティアの確保（人数が少ない、高齢化）等が挙げられました。どのボランティア団体も課題をかかえ運営の努力をされていると感じました。後半はグループの発表内容を踏まえて講師よりコメントがあり、その後本題に入り資料に沿って講義が行われました。日本語ボランティア活動が盛んになった歴史的経緯、地域特性（横浜市の区にも）等について解説があり、最後に「日本語ボランティアの特色」について、同じ地域の住民、「安心して」コミュニケーションできる場、「伴走者」としてのボランティア等、の提言がありました。講師自身の経験も踏まえ、また多岐にわたる内容でしたが、とてもわかりやすい講義でした。

【受講生の声】

- ・在留外国人に対する日本語支援の需要が今後増加していくと予想される中で、ボランティアの担い手確保が課題だと感じました。
- ・参加者の方同士が別室訪問という共通の経験をシェアする時間が充分にとられ、富谷先生がそれに丁寧にフィードバックされるプロセスがとてもいいと思いました。
- ・運営委員の方が各グループに入っていらっしゃるのもとてもよかったと思いました。
- ・日本語ボランティア＝「日本語を教える」だけでなく、「学習者と社会の橋渡し役」の役割を担う学習者の伴走役という点が印象的だった。

【記録：神奈川区国際かけはしの会運営委員 若山】

第5回 【『関心を持つ』から行動へ、さあ踏み出そう】

- ✿進 行：神川区生涯学級運営委員会 神川区国際かけはしの会運営委員
- ✿会 場：神川区役所5階大会議室
- ✿受講生15名 運営委員：8名 合計23名
- ✿保育会場：2階中会議室
- ✿保育：1名



【講座の内容】

・講座最終回は、これまでの講師の方々による様々な観点からの聴講、フィールドワークで直接的に観察したこと、回ごとに違ったメンバーグループで意見交換してきたことなど、盛りだくさんの内容を重ねてきて、高まってきた内側からの気持ちがお一人お一人から爆発し、本日のテーマ「関心を持つ」から行動へ、さあ踏み出そうの場を現成できたように感じました。神川区多文化共生ラウンジオープンを間近に控えた館長の挨拶は、さかのぼること2004年から外国につながる人のことを考え、なんとか神川区で同じ地域の住民として理解して、共に活躍し、交流できる場をつくりたいと願って様々なチャレンジをし、歩んできた一つの結果として悲願のラウンジを業務委託事業として運営することになった経緯をお聴きして感動しました。

多文化共生への道は、言葉の壁、異なる文化や習慣の違いの体験が少ないなど、まだまだ多くの見える課題、まだ見えていない課題があると思いますが、このような講座を設けることは有意義であると感じました。

【受講生の声】

- ・受講者各位が全5回の講座のエッセンスを理解したうえで、今後自らが多文化共生で進めたい方向を考えられた点は非常に良かった。
- ・ボランティアになることで、今まで知らなかったことを知ったり、新たな気づきを得るきっかけになると分かり、自分を成長させるいい機会になると感じました。
- ・日本語での交流に興味があり、参加していたのですが、運営委員に興味が出てきました。

【記録：神川区国際かけはしの会運営委員 関】

運営委員向け ファーストエイド講習会

神奈川区生涯学級では、通常の運営委員会や連続講座の開催時に万が一の怪我などが起こった際に運営委員が冷静に対応できるよう、神奈川消防署の協力のもとファーストエイド講習を行っています。

●対象：神奈川区生涯学級運営委員 合計 13 名

- ・おやまなび 4 名
- ・神奈川区国際かけはしの会 9 名

●講習会開催日：R5. 6. 21



ファーストエイド講習 ～いざという時に役立つ応急処置を学ぶ～

AED【自動体外式除細動器】の使い方や応急処置の方法など、消防署職員より講習を受けます。
連続講座中、もしくは委員会中に、もしものけがや病気、またはAEDが必要な場面に遭遇したときに
落ち着いて行動できるよう、年に一度、運営委員を対象に開催しています。
過去に受講したことがある方も、確認のため定期的な受講が必要です。
受講生の安全とご家族の突然の場合にも役立つ講座です。



- ◆対象： 神奈川区生涯学級 運営委員
- ◆日時： 6月21日(水) 10時～11時
- ◆会場： 神奈川区役所本館 5階大会議室



講座名 神奈川区生涯学級 スキルアップ講座「ファーストエイド講習」	
学級名	
氏名	電話番号
連れてくるお子さんの名前(ふりがな) _____ 年齢月齢 _____ 歳 _____ カ月	
連れてくるお子さんの名前(ふりがな) _____ 年齢月齢 _____ 歳 _____ カ月	
※保育はありません(講座開催日の年齢・月齢を記入)	

主催：神奈川区地域振興課 協力：神奈川消防署総務・予防課

【 ファーストエイド講習 】

- ❖講師：神奈川県消防署 総務・予防課 長崎係長・吉原さん
- ❖会場：神川区役所5階大会議室 ❖同室保育：3名
- ❖運営委員13名（おやまなび4名、神川区国際かけはしの会9名）



【講座の内容】

運営委員として、受講生のいざという時や身近な家族になにかあった時にも冷静に対応できるように毎年、講座開催前にみなさんに受講していただいています。

今年は熱中症の対策、心肺蘇生の手順、AEDの実践をおこないました。講座開設時には熱中症対策として部屋の温度管理や、水分補給のアナウンス、休憩時間を取り入れるなど、意識的な対策を取り入れるなどのアドバイスをいただきました。

AEDでは使用された方の「声は届いていた」というエピソードから声がけは大切だという印象が強く残りました。

また、通報時にカメラ通話の対応や、胸骨圧迫のURLを送信してくれる、など最新の情報も得ることができました。気持ちを引き締め、安全第一の開催を心掛けます。

【運営委員の声】

- ・胸骨圧迫がものすごく大変。周りに人がいたら交替しながらやることの必要性を感じました。
- ・久しぶりに胸骨圧迫しましたが、定期的に講習を受けていないと正しいやり方を忘れてしまうと思いました。
- ・胸骨圧迫やAEDの狙いが理解できた事が大きい。心臓が真中にある事、その心臓の代りをする事が印象に残りました。
- ・何か起こったときに冷静に対応できる心作りや運営仲間同士の声かけ、よい雰囲気づくりを心掛けていきたいと思いました

運営委員向けスキルアップ講習

神奈川区生涯学級では、神奈川区生涯学習運営委員及び、講座を受講後運営委員に興味がある方を対象にスキルアップ講座を開催しております。講座企画・運営に役立つスキルを学ぶのはもちろん、他の生涯学級との交流の場となっております。

●対象：神奈川区生涯学級運営委員 合計 16 名

- | | |
|----------------------|-----|
| ・ おやまなび | 5 名 |
| ・ 神奈川区国際かけはしの会 | 4 名 |
| ・ R5 年度 環境デビュー講座 | 2 名 |
| ・ 健康の芽の会（R5 年より自主活動） | 5 名 |

●講習会開催日：R6. 3. 14

令和5年度 神奈川区生涯学習 運営委員向けスキルアップ講座

エトス・パトス・ロゴスを ふまえたコミュニケーション

～なかまとともに活動するうえで大切なコミュニケーション術～



研修講師 渡辺整さん 対話のスペシャリスト絶対に受けておきたい講座

日時：令和6年3月14日（木）10:00～12:00

会場：神奈川区役所 BI機能訓練室

保育：神奈川区役所 5階交流室

対象：神奈川区生涯学級に興味・関心のある方
（生涯学級運営委員・神奈川区在住・在籍の方優先）

締切：2月29日（木）

参加費・保育料：無料（ただし保育は先着順）

主催：神奈川区地域振興課

協力：保育ボランティア こぶし

問い合わせ先：神奈川区役所地域振興課 生涯学習担当 小林・中村

☎:045-411-7093 e-mail:kg-gakyuu@city.yokohama.jp

FAX送信用紙

045-323-2502

申込〆切は
2月29日(木)
必着です！

講座名令和5年度 神奈川区生涯学習 運営委員向けスキルアップ講座

エトス・パトス・ロゴスをふまえたコミュニケーション ～なかまとともに活動するうえで大切なコミュニケーション術～

氏名（ふりがな）

電話番号

〒

住所

連れてくるお子さんの名前（ふりがな）

年齢月齢 歳 カ月

連れてくるお子さんの名前（ふりがな）

年齢月齢 歳 カ月

申込方法

申込必須です！

FAX・e-mail・ハガキ・窓口にて講座名・氏名・郵便番号・住所・電話番号・
連れてくるお子さんのお名前と年齢月齢・を書いてお申込みください。

問合せ先

神奈川区地域振興課生涯学習担当

〒221-0824 神奈川区広台太田町3-8

TEL：045-411-7093 Fax：045-323-2502

E-mail：kg-gakuyu@city.yokohama.jp

講師
プロフィール

研修講師・研修企画立案 渡辺 整さん



1983年横浜市生まれ。20代はサービス業界で
チームマネジメント経験を積む。
28歳で脱サラ。（カフェ経営で大失敗！）
30代、人材育成専門会社にて営業、新規事業立ち上げ、
採用・就活支援等を経験し、2022年フリーランスの
講師として独立。

テーマ：コミュニケーション、マナー、部下指導
ダイバーシティ等

担当者の声

今年度、神奈川区生涯学習「おやまなび」の連続講座の講師としても登壇していただきました。講座では、人を引き込むとても魅力的なコミュニケーション術がさく裂！ぜひ、運営委員のみなさまに受講していただきたい講座です。

【 エスト・パスト・ロゴスをふまえたコミュニケーション
～なかまとともに活動するうえで大切なコミュニケーション術～ 】

❖ 講 師：研修講師 渡辺 整さん

❖ 会 場：神川区役所B1階機能訓練室・研究室 ❖ 保育：3名 ❖ 同室保育：2名

❖ 運営委員13名（おやまなび5名、神川区国際かけはしの会4名、環境2名
健康の芽の会5名）



【講座の内容】

上は80代後半から下は30代と年齢の幅が広く、会話が弾むか心配しましたが、グループ共有の時間では終了のお知らせもなかなか耳に届かない程、おしゃべりは絶えず、盛り上がりを見せていました。

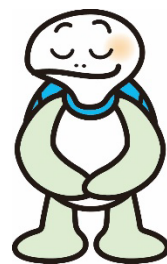
信頼をしっかりとって、関係の質を高めることによって安心して意見の共有ができることを改めて実感しました。そしてこの講座で学んだポイントを、来年度の学級の打合せに取り入れることで楽しく企画がすすめられると感じました。

また、お子さんと同室受講の方にシニアから「子どもは泣くのが仕事、元気でいい」とあたたかい声をかけてもらってとても嬉しかったという声もありました。

普段、接することのない多世代での意見交換、共有は大変貴重な経験となりました。

【運営委員の声】

- ・ 日頃、何気なくやっているコミュニケーションですが、様々な発見があり、とても面白かったです。無意識にやっていたプラス、マイナスの両面に気づき、今後に上手に活かしていきたいと思いました。更に、人とのコミュニケーションを愉しんでいきたい。
- ・ もっと現役時代に聞けたらよかったと思った。会議では発言できずにいる人たちにも声をかけ、意見を聞くということ。いつも特定の人意見で会議等進行していたので改めて共感を得た。参考にしたいことがたくさんありました。出席してよかった。
- ・ よく雑談が必要だというけれど、なぜ大切なのか成功の循環モデルでよくわかった。



令和5年度神奈川区生涯学習事業実施記録『学びの記録』

発行日：令和6年3月

発 行：神奈川区役所地域振興課

〒221-0824

横浜市神奈川区広台太田町3番地8

TEL 045-411-7093 FAX 045-323-2502